

令和3年度 第1回郡山市総合教育会議 議事録

【日時】 令和3年8月26日（木） 13時30分～14時30分

【会場】 Web 会議

【次第】 1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 題

学校における新型コロナウイルス感染症対策

～Protect Children from COVID-19～

4 報 告

(1)本市における通学路の安全対策について

(2)学びの DX(デジタル・トランスフォーメーション)化

5 その他

6 閉会

【出席者】 7名（敬称略）

郡山市長	品川 萬里
教育長	小野 義明
教育長職務代理者	阿部 亜巳
教育委員	今泉 玲子
教育委員	阿部 晃造
教育委員	藤田 浩志
教育委員	田中 里香

【事務局】 4名

政策開発部長	塚原 馨
保健所長	塚原 太郎
教育総務部長	朝倉 陽一
学校教育部長	小山 健幸

1 開 会

2 市長あいさつ

○品川市長

（開催方法として）Web 会議での開催にご賛同いただき感謝している。今は、色々な方々、色々な分野で Web 会議が行われている。私どもも、教育委員会もこうした Web 会議を行っているということを教育関係者に知ってもらうことは意味があるのではないか。これから授業をネットで互いに勉強しあうということも出てくる。一体感を持って、ニューノーマルを我々自身が体現して、教職員の方々、保護者の方々、児童生徒一緒にこのネット時代に対応していただくという意味をこめて、このような形をとらせていただいた。

3 議題 学校における新型コロナウイルス感染症対策

○品川市長

さっそく塚原保健所長から、教育委員のみなさまに、市内における感染状況や、これから何をしていくかということについてお話いただきたい。保護者、先生方、児童生徒がどのような学習様式にしていくか参考にしてもらいたい。

（本市のコロナウイルス感染症の状況について塚原保健所長から説明）（資料 1）

○品川市長

それでは、塚原保健所長からの説明を受けて、教育委員会からコメントいただきたい。

○小山学校教育部長

塚原保健所長からお話があったように、子どもたちの感染が増えている状況の中、8月25日から学校がスタートしているが、これまで以上に感染対策を行っていく。保護者の方にご協力いただき感染を抑える必要があることから、体調の悪い児童生徒や、家族で PCR 検査を受けている場合は、登校を控えるようお願いしている。子どもたちの学びを止めないように進めていきたいと考えている。

○小野教育長

各学校に対し、まん延防止等重点措置適用による対応の依頼を8月23日付けで行った。その対応策に沿って、各学校では子どもたちの健康と学びを守るための取り組みを行っているところであり、教育委員会としても各学校の取り組みをしっかりとサポートしていきたいと考えている。

○朝倉教育総務部長

教育総務部としても、学校教育部と教育委員会ひとつという形で、技術的な支援、人的な支援を行いながら、子どもたちの学びを途切れさせないようにしていきたい。

○品川市長

教育委員のみなさまから一言ずついただきたい。

○阿部亜巳委員

保護者への協力要請に関しては、昨日、私の次男の小学校の始業式で「保護者のみさまへ」というプリントを頂いた。家庭で気をつけなければならないこと、今後の学校活動の方針などについて、わかりやすくご説明いただいて、保護者としても気を引き締めて取り組まなければならないと思った。

子どもが体調不良あるいは家族のなかに体調不良者がいる場合、出席を控えてほしい、そういう場合は欠席扱いにならないということをわかりやすく説明いただき、とても良かった。保護者として、子どもが学校を休むとなった場合、一番心配なのは学習の遅れ。特に濃厚接触者あるいは本人が感染した場合、出席停止日数が長くなる。今後、感染状況によっては、休校や学級閉鎖といった事態も想定される。授業を受けられなかった期間のフォローをどのようにしていくかということも現時点からしっかり考えていかなければならないと感じた。

○阿部晃造委員

教職員のみなさんが 90%以上ワクチン接種していると聞いた。この点に関しては迅速に対応してくれていると感じる。学校の現場の対応については、基本的なことをひとつひとつ徹底してやるしか方法がないと思う。児童生徒、教職員のみなさん大変だと思うが、頑張って、指針に従って粛々とやっていただければと思っている。

○今泉委員

感染問題が大きくなり、子どもから大人まで大変だが、色々な意味で気遣いをするということ、凄くいい勉強だと思っている。自分を守ること、人を守ること、親しくなっても礼儀など色んなことが生じるということで、教育的に大事なことを教えられているような気がする。

やはり、暗くならないように、先生方やまわりの方が明るく、そして色んなことの目的を見失わないようにすることが大事だと思っている。大人がいいお手本になるように、やってはいけないことは決してあってはならないということを一人ひとりが認識しながら子どもに接していかないと、大変なことになると思っている。

○田中委員

自分のクリニックで、発熱外来を1年半やっている。連日、発熱の患者さんが増えてきていて、陽性患者も増えてきている。特に若い方が増えてきており、40、50代、子育て世代も多く、家族全員で罹ってしまったというケースもある。詳しく聞くと、家族がばらばらの場所で療養していて、その後大丈夫なんだろうかと心配している。

ワクチンに関して、自身のクリニックでは毎日80名から100名近くワクチン接種を行っている。今までは希望のあった方には全てワクチンの予約を取れていたが、ネット予約を開始したところ、一気に予約が入り、10月いっぱいまで空きがなく、いったんストップしている状況。若い方に多いが、副反応を過剰にSNSで投稿したり、根拠のない噂が出回ってワクチン接種を控える流れが全国的にあるかと思う。ワクチンの意義、自分の体を守る以外にも、社会を

守る目標がある。ワクチンを行き渡らせて、感染を抑えなければならない社会的意義を発信して、若い方に積極的に摂取してもらう方向に持って行ってほしい。

○藤田委員

田中委員から話があったように、小さいお子さん、特にワクチンの対象外である12歳未満のお子さんをお持ちの家庭が不安を感じているのではないかと。また、ワクチン接種後の副反応を恐れ、ワクチン接種を躊躇したり、不安に思っている方は周りにもいる。このようなことを考えると、副反応が出た際や感染が疑われる場合、どこに相談すればいいのか、小さい子どもを抱えた家庭をどのようにサポートするのかといったことに関して、いざという時の相談先や行動指針があると精神的にも助かるのではないかと考えられる。

これ自体は、コロナに限らず、原発事故で同じようなことを経験している。保護者のメンタルケアをどのようにやってきたのかということは10年間蓄積されている。このあたりを参考にしながら、活かしていけば効果的な対応がとれると思っている。フィジカル(身体面)はもちろんだが、メンタルの面で支えてあげられる情報公開があると保護者として大変助かる。

○品川市長

率直なご意見感謝する。これを受けて教育長からご意見を伺いたい。

○小野教育長

各委員からお話いただいたが、教育委員会として様々な課題への対策について学校管理課長から端的に話をしたい。

(学校における新型コロナウイルス感染症対策について学校管理課長から説明)(資料2)

○品川市長

塚原保健所長はいかがか。

○塚原保健所長

去年の今頃と何が変わってきているか考えてみると、通常株では感染力が強くなかったウイルスがデルタ株に変わってきて感染力が強くなり、比較的若い人でも重症、中等症になる方が散見される状況である。

一方で、ワクチン接種が進み、高齢者については8割以上が2回の接種を終えている。12歳以上の方は、42%の方が2回接種を終えており、ワクチン接種が進んでいる。まだ集団免疫には至っていないが、感染する方は比較的若い方に限られてきている。それから、治療薬も出てきている。「抗体カクテル療法」や、「レムデシビル」という中等症以上の方に使う病気を治す働きがある薬が使われるようになってきている。市の医療機関と連携して、そのような医薬品が必要な人に必要な時に使うことができる体制を作り上げているところである。

このように色々と状況が変わってきている。子どもはワクチンが打てない状況のため、大人が感染しないようにすることが重要。万が一、家庭内で大人から子どもに感染してしまった場合、感染したお子さんから学校に広がらないようにすることが一番重要で、今後、関係者一同

協力、連携しながら対応していきたい。

○品川市長

コロナ感染症は、季節を問わない感染症のため、我々のこれからの生活様式も、感染症対策を前提にせざるを得ない。この状況が続かざるを得ないという場合どうするかと、その前提で学校教育のあり方を考えていかなければならない。

また、委員のみなさんそれぞれの立場で実践されている、職場や家庭における感染症対策の前向きな提言について、ポジティブリスト（事例の限定列挙）の観点から今後ご教示願う。

4 報 告	(1)本市における通学路の安全対策について	(2)学びの DX(デジタル・トランスフォーメーション)化
-------	-----------------------	-------------------------------

「通学路の安全対策」と「DX 型教育」、これはどちらも教育における大きな課題となっている。学校教育推進課長と教育研修センター所長から、説明をお願いしたい。

(本市における通学路の安全対策について学校教育推進課長から説明)(資料3)

(学びの DX(デジタル・トランスフォーメーション)化について教育研修センター所長から説明)(資料4)

○品川市長

子どもたちに働きたいと思ってもらえるような職場にならないといけないと思いながら資料を拝見していた。

コロナ感染症の対策について、市役所においても学校においても Web 会議ツールを活用し、感染対策を共有していかなければと考えている。それから、デジタル教育の面については、すでに教育委員の職場では、様々なデジタル技術の活用が進んでいると思われるため、学校教育の場ではどういうことをやるべきか、委員のみなさまの意見を次回お伺いしたい。

○小野教育長

先日、市内学校の教頭会議を Web 会議(zoom)で行った。各教頭先生に各学校で教育委員会からのお話を聞いてもらった。また、各中学校区において、小学校と中学校が対面式ではなく、Web 会議を活用し、各中学校区の課題や学力向上対策等について話し合いを行っている。これらを教育委員会としてもさらに進められるようにサポートしていきたいと考えている。

5	その他
---	-----

なし

6	閉 会
---	-----